

大樹

みなさま
お変わりなく
お元気ですか

第15号

平成30年12月吉日
発行

香川県立保健医療大学同窓会翠丘会

すいきゅうかい

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1
TEL (087) 870-1212 (代)



人生の責務について

翠丘会会長
松原 文子 (香川県看護協会)

大樹の会員の皆さまへ
皆様、お健やかに過ごしてでしょうか。
日頃より本同窓会発展の為にご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

今年は、西日本の豪雨に台風、北海道胆振東部地震、猛暑など、大変厳しい年でした。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、様々なお立場からご支援をされた方々に感謝申し上げます。

さて、本同窓会では、本年5月に「香川県立保健医療大学同窓会会員名簿2018年度版」を発刊いたしました。発刊にあたりましてのご協力、ご購入等有難うございました。平成30年(2018年)10月末現在の同窓会会員は、3,415名で、保健・医療・福祉関連だけでなく、地域での貢献活動など様々な分野で活躍しています。今後もその活動が、人々の健康づくりや介護予防につながると共に、大学との連携、都道府県単位での同窓会開催などの交流に役立つことを期待しております。

また、本同窓会の特徴に、在校生も同窓会に加入することができます。大学・大学院入学時に入会をご案内しており(平成30年度新規会員82名)、以後は、原則として永久会員となります。

また、同窓会の予算ですが、積立金1千万円を除く平成30年度の年間予算は、約363万円で、主な事業は、図書館の資料購入、国際交流支援、同窓会の大学祭(橄欖祭)参加、オープンキャンパス、卒業生進路動向郵送調査などです。特に在校生支援に関する予算は全体の87%を占めています。今後は、卒業年度毎のミニ同窓会やシニア世代の方々の「元気声かけ同窓会」(案)への助成金支給等の仕組みも検討していく予定です。

ところで、私事ですが、私には、介護施設に入所している夫がおります。夫を見舞い、穏やかな時間を過ごすことが楽しみである一方で、寝たきりの今の状況を本人は望んでいなかったのかも知れません。夫

の泣き笑いの顔を見るたびに苦しくなります。もし、満足できる人生の終わりについて、二人で話し合っていたならば、と、考えることがあります。

そんな中、今年の11月に息子夫婦が伊勢志摩の温泉旅行をプレゼントしてくれました。スペイン村で無邪気に遊ぶ愛らしい孫娘や伊勢神宮の参拝、松坂牛のステーキ等々、どれも楽しく有難いものでした。思えば孫が生まれた時、次の世代に繋げることが出来た“安堵感”を感じました。

一方で、安堵感とは別に、新たな人生百年時代を生きる覚悟に向き合わざる得なくなりました。

第一線を退いた今、自分のための時間が持て、私生活は充実しているのに、全身全霊で打ち込めるものがないと、窒息しそうなのです。仕事(遣り甲斐)と私生活のバランスによって、自分が自分であることを保ってきたことによく気づかされたのです。

最近、2か月かけて30年分の家中の片付けをしました。そろそろ、再出発の時期にきていると感じています。

来年は元号が変わり、日本中が新たな出発の雰囲気にも包まれる事でしょう。高ぶらず落ち込まず、それでも他が為に役立つことを責務として頑張りたいと思います。

保健医療看護等の専門的スキルをもって人々へ貢献を共通の目的とし結ばれている大樹の会員の皆さん、これからも、目の前の一人一人のベッドサイドに心を寄せて、健康支援に共に歩んで参りましょう。

最後に、来年5月に総会を予定しています。皆様にお目にかかれることを役員・評議員一同、心より楽しみにしております。是非、大勢の方々にご参集していただけますようお願い申し上げます。

来年も良き年でありますように。



4年間を振り返って自分が看護師として大切にしていることは

看護学科8期生
神戸市立医療センター
中央市民病院
木内 美沙

みなさんこんにちは。私は看護学科を卒業した後、兵庫県の神戸市立医療センター中央市民病院へ入職しました。現在は脳卒中センターとSCUが併設されている病棟で働きはじめて4年目になります。

1年目の時は新しい環境や、初めての一人暮らし、仕事に慣れるのにととても苦労し何度も挫折しそうになったことを覚えています。しかし、つらいと思うことを続けていく中で出来るが増えたり、患者さんから「ありがとう。」や「あなたを見てると元気がでる。」などという嬉しい言葉をもらったり、リハビリなどを通して元気に自宅に退院される患者さんを見る中で、自分の仕事に誇りが持てるようになりました。

そして、現在は4年目になり、たくさんの後輩も出来、病棟内でのリーダー業務や後輩指導などといった様々な仕事を

任されるようになりました。学年が上がるごとに求められるスキルや知識、責任などは大きくなります。4年たった今でも時々ミスをしたり、納得のいく看護が出来ず、もやもやすることもあります。そんな時は、学生時代の実習経験や4年間の経験を振り返り、自分はどのような看護師でいたいのか、何を大切にしたいのかをもう一度考えるようにしています。そして、患者自身やその家族を知ることからはじめ、その人の今の気持ちやこれからの生活を想像することで個性のある看護を提供できるように心掛けています。その際には尊敬できる先輩看護師や、頼れる同期、多職種のかたの協力を得ることが出来ます。

このように、恵まれた環境で働けることや、急性期病院でとても忙しい毎日の中で多くの経験や知識を習得できることにととてもやりがいを感じています。これからも忙しい日々は続きますが、患者さんの個別性に合わせた看護が提供できるような日々の経験や初心を忘れない気持ちを大切に頑張っていこうと思います。



香川県立保健医療大学での学生生活・教員経験を振り返って

臨床検査学科3期生
国際医療福祉大学
成田保健医療学部
医学検査学科

大星 航

国際医療福祉大学の 大星航と申します。平成30年4月に現在の職場に転職したばかりで、30年生まれ育った香川県を離れたタイミングで同窓会会報誌の原稿執筆の機会を頂き、これまでの学生・教員生活などを振り返ってみました。

私は香川県出身で、香川県立保健医療大学の3期生、大学院保健医療学研究科(現在の修士課程)の2期生として卒業しました。その後は昨年度まで臨床検査学科の助教として働いており、学生の頃から数えると12年在籍しておりました。あつという間の12年間でしたが、同級生、恩師、同僚に恵まれたおかげで困難も乗り越えることができ、香川県立保健医療大学で培った経験が今の私の血肉となっていると実感しております。

大学の同級生とは年に数回集まり、定期的に忘年会も開催する中で、学生時代を懐かしむというよりは職場環境や育児の話が中心の年代になってきました。同

級生の中で教員の道に進んだのは私だけだったので、臨床の話題を聞くのは興味深く、大変刺激になっています。

香川県立保健医療大学で教員として在籍していた6年間の間は、学生教育の傍ら徳島大学大学院で博士後期課程に進学し、博士号を取得しました。私たちの後輩である学生には、自分の将来をしっかりとイメージして、色々なことにチャレンジすることを心掛けて頂きたいなと思います。

現在は千葉県成田市にある国際医療福祉大学医学検査学科に講師として在籍しております。香川県立保健医療大学の頃と違い、学生が1学年約80名在籍しており、講義も受け持つことになりました。現在は主に免疫検査学、輸血・移植検査学の講義・実習を担当しており、講義資料の作成とレポートの採点に追われています。公私ともに新しいスタートを切りましたが、鶏口牛後 の精神で精進してまいります。

最後に、平成も最後の年となりましたが、香川県立保健医療大学同窓会会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



仲間とともに価値のある大学生活を

看護学科1年
吉井 彩芽

看護師を志望したきっかけは職場体験です。小さい頃から医療の職業に興味があり病院見学を希望しました。そこで印象的だったのは患者さんに笑顔で接し生き生きとしている看護師の姿でした。看護師という職業について調べていくうちに患者さんに寄り添える一番近い存在であることやチーム医療の一員として活躍できることを知りました。実際に看護ボランティアにも参加してみて人の役に立ち感謝される立場であることに魅力を感じ看護師を目指そうと思いました。

本学を志望した理由は勉学に励むための設備や環境が整っていることや真面目な校風に魅力を感じたからです。大学ではグループワークが多く仲間と試行錯誤しながら課題に取り組み協力し合うことで、達成感を共有して味わえることに楽しさを感じています。最近では専門的な演習が増え、慣れない動作に苦戦しながらもひとつずつ目標を達成することで自分への成長を

感じるようになっていきます。

また、様々な活動や行事に参加しています。徳島文理大学と香川大学、本学での合同で行った三大学交流にも参加しました。同じ医療の勉強をしている他大学の生徒と初めて交流し、普段の学校生活の話に花を咲かせたりして良い刺激をもらうことが出来ました。

他にも健康サポーターの活動に参加しています。先日は大野コミュニティセンターで4年生の先輩と一緒に健康測定を行いました。測定を行うことに慣れておらず苦勞を感じることもありましたが、地域の方とふれあえたのが良い経験になり、充実した1日を過ごすことが出来ました。

1年生の後半には臨地実習があります。大学生になって初めての実習なので緊張もありますが実際の仕事を見学できることに楽しさを感じています。また、学年が上がれば専門分野も多くなりますが、志を高く持ち仲間と協力して困難も乗り越えていきたいと思っています。そして、私の理想像である患者さんの心の拠り所となれるような看護師を目指して価値ある大学生活を送っていきたくです。



半年間の学生生活を通して

臨床検査学科1年
黒澤 千夏

大学に入学してから半年が経ちました。1年生の時点から臨床検査技師になるための専門的な授業が始まり、日々勉強に励んでいます。

授業の中で、「臨床検査技師はあらゆる検査を用いて、患者がなぜこの症状で苦しんでいるのか考えることが重要だ」ということを聞きました。私は、患者からいただく検体は唯一無二で貴重なものだとして理解すること、また正確な検査結果を出すだけでなく、その次に何の検査が必要かを考察できるようにすることが大切だと思いました。

本学は、臨床検査技師としての役割や意義、心構えなど、様々なことを学ぶことができる場所だと感じています。学内では先生方や先輩方との距離が近く、先生は学生に対し、非常に丁寧に指導して下さいます。先輩方は勉強方法についてのアドバイスを優しく教えて下さり、また実習室や図書室などで課題に取り組んでいる姿を見ると、非

常に心強く感じます。また本学は少人数制であるため、同じ道を目指す仲間が近くにいることで、日々の生活の中で悩みや苦しみを共有したり、励ましあったりすることができます。それに加え一年の前期では、自分が所属する学科の人だけでなく、看護学科の人達ともグループ課題に取り組むことで、交流を深めることができました。

一方、この半年間で本学の内外において様々な活動をしました。例えば、健康サポーターとして、大学祭で大学に来て下さる地域の方々の腹囲や骨密度を測定しました。大学外では、赤ちゃん抱っこ体験のお手伝いをしました。このようなボランティア活動を通して、コミュニケーション能力の大切さを学ぶと同時に、臨床検査技師として患者とコミュニケーションをとれるようになりたいと思えるきっかけにもなりました。

これからさらに重要な専門的授業や実習が増えると思いますが、今の自分が感じている臨床検査技師に対する心構え、仲間に対する感謝の気持ちを忘れずに大学生活を過ごしていきたいと思っています。

ご挨拶



学長 井伊 久美子

皆様、こんにちは。平成30年4月より香川県立保健医療大学学長を拝命いたしました井伊でございます。また、6月からは公益社団法人日本看護協会の副会長も兼務させていただいており、二足の草鞋の足がもつれないよう、就任8か月まだまだ新米学長として緊張の日々を送っております。

少子高齢化の進展による人口構造の変化は保健医療に直接的な影響を及ぼしています。

現在の保健医療ニーズに応え健康な社会とするために、地域を基盤とした「地域包括ケアシステム」が推進され、従来の病院完結型から、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型の体制へと転換が図られております。保健医療の専門職には、職種を問わずさらなる役割拡大が求められて

います。このような地域包括ケア・人生100年時代ともいわれる変革の中で、平成30年11月6日付けで、保健医療学研究科看護学専攻博士後期課程の設置が文部科学省により認可されました。地域包括ケアの推進に向け、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、地域の看護実践の向上に貢献できる教育者や組織的指導者を育成することを目指しています。すでに、平成29年4月に臨床検査学専攻博士後期課程が開講していますので、地域に開かれ、地域に貢献する大学として、次のステージに入ったと言えると思います。同窓会の皆様はじめ多くの方々のご尽力とご支援の賜物と考えております。

同窓会の皆様には、日頃より大学行事への支援等大変お世話になっております。誠にありがとうございます。同窓会名簿を拝見し、各地での皆様のご活躍を心強く思っております。同時に、卒業生・修了生の多くの皆様に大学院に進学していただくなど、キャリアアップのための本学のご活用を期待しています。

本学が地域の医療専門職の拠点として機能し、これからのニーズに応じていけるよう微力ではございますが、尽力したいと考えております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



学祭報告

翠丘会は、平成30年10月20日土曜日に開催されました大学祭(橄欖祭)に出展しました。今回も同窓会企画として、「健康戦隊 ケンサ&カンゴレンジャー」を看護と臨床検査の合同で出展いたしました。クイズラリーを通して、小さいお子様も含め来場者の皆様に看護や臨床検査について身近に感じていただきました。



お知らせコーナー

- 次回の総会は平成31年5月開催予定です
- トートバッグ・マグカップを作製しました。
総会などでお配りしています。
- 大学に同窓会のEメールアドレスが登録されました。
お名前と卒業年度を明記して、ご意見等をお寄せください。
E-mail : suikyukai@chs.pref.kagawa.jp



平成29年度収支決算

平成30年度収支予算案

収入の部			内訳	
	29年度予算額	29年度決算額		
会費収入	1,920,000	1,572,000	新入会員	66名
寄付	100,000	0		
雑収入	500	23	受取利子	
繰入金	1,667,696	1,667,696		
その他	0	0		
合計	3,688,196	3,239,719		
支出の部			内訳	
	29年度予算額	29年度決算額		
会議費	270,000	164,104		
(1) 総会	120,000	89,904	第8回翠丘会総会	(平成29年5月27日)
会場代	0	0		
講演費	100,000	70,000		
雑費	20,000	19,904	役員・評議員会	2回
(2) 役員会	150,000	74,200		
旅費	60,000	31,000		
軽食代	90,000	43,200		
事業費	400,000	375,662		
(1) 会報誌発刊	400,000	375,662		
(2) 同窓会名簿作成	0	0		
(3) 記念品作製	0	0		
事務費	340,000	278,322		
(1) 通信費	300,000	274,064	総会案内、監査報告書依頼、現金書留郵送代を含む	
(2) 消耗品	20,000	4,258	ラベル用紙、領収書、コイントレー	
(3) 雑費	20,000	0		
入学式	7,000	1,000		
(1) 旅費	7,000	1,000		
卒業式	307,000	218,052		
(1) 旅費	7,000	1,000		
(2) 記念品・花束	300,000	217,052		
大学支援金	761,000	473,725	(大学支援金内訳)	(その他)
その他	0	20,000	オープンキャンパス: 115,749円	同窓会退会(1名)返金: 20,000円
支出小計	2,085,000	1,530,865	同窓会の大学祭参加費: 209,969円	
次年度繰越金	1,603,196	1,708,854	保健師研修会: 12,488円	
支出合計	3,688,196	3,239,719	助産師交流会: 23,119円	
			国際交流: 112,400円	
積立金				
ゆうちょ銀行	6,000,000			
百十四銀行	4,000,000			

収入の部			内訳	
	30年度予算額	29年度決算額		
会費収入	1,920,000	1,572,000	新入会員	80名
雑収入	500	23	利子等	
繰入金	1,708,854	1,667,696		
その他	0	0		
合計	3,629,354	3,239,719		
支出の部			内訳	
	30年度予算額	29年度決算額		
会議費	150,000	164,104		
(1) 総会	0	89,904		
会場代	0	0		
講演費	0	70,000		
雑費	0	19,904		
(2) 役員会	150,000	74,200	役員・評議員会	3回
旅費	60,000	31,000		
軽食代	90,000	43,200		
事業費	1,350,000	375,662		
(1) 会報誌発刊	400,000	375,662		
(2) 同窓会名簿作成	950,000	0		
(3) 記念品作製	0	0		
事務費	340,000	278,322		
(1) 通信費	300,000	274,064	総会案内発送代を含む	
(2) 消耗品	20,000	4,258		
(3) 雑費	20,000	0		
入学式	7,000	1,000		
(1) 旅費	7,000	1,000		
卒業式	307,000	218,052		
(1) 旅費	7,000	1,000		
(2) 記念品・花束	300,000	217,052		
大学支援金	1,371,000	473,725	(大学支援金内訳)	
その他	0	20,000	オープンキャンパス: 116,000円	
支出小計	3,525,000	1,530,865	同窓会の大学祭参加費: 240,000円	
次年度繰越金	104,354	1,708,854	保健師研修会: 25,000円	
支出合計	3,629,354	3,239,719	助産師交流会: 35,000円	
			国際交流: 73,000円	
			卒業生進路動向郵送調査: 3,000円	
			図書館の資料購入: 500,000円	
			臨床検査学科卒業生交流会・集団討論研修会: 30,000円	
積立金				
ゆうちょ銀行		6,000,000		
百十四銀行		4,000,000		

平成30年度事業計画

香川県立保健医療大学同窓会事業計画

1. 組織に関する事項

1) 会員増加対策

- (1) 在学生未加入者への働きかけ
- (2) 新入生に対する入会勧奨

2) 役員・評議員会(年3回の開催)

3) 支部づくり、役員・評議員構成の再構築による会員相互のつながりの強化

2. 同窓会活動に参加する事項

1) 会報誌「大樹」発刊(15号)

2) 大学祭での出席

3) 香川県立保健医療大学ホームページにおける同窓会コーナーの充実

3. 在校生に関する事項

1) 大学委員会への支援(担当者から企画書提出)

(1) 大学図書館の専門図書の購入支援

(2) 進路指導委員会卒業生進路動向郵送調査

2) 大学行事への支援(事業担当者から企画書提出)

(1) オープンキャンパス(継続)

(2) 国際交流(継続)

(3) 保健師研修会(継続)・助産師交流会(継続)・臨床検査技師交流会(新規)

3) 入学式、卒業・修了式

(1) 卒業生・修了生への花束贈呈

(2) 学生会員の卒業・修了生への記念品贈呈

(3) 学生会員への入会記念品の配布(トートバックまたはマグカップ)

同窓会会則変更(平成30年4月1日から施行)

附則…会則13条(会計)の会費規定のうち、変更部分のみ記載しています。会則全文はホームページ同窓会からご覧ください。

(3) 香川県立保健医療大学生が本学を退学した場合には、本人の申し出により終身会費20,000円を返却するものとする。

香川県立保健医療大学
同窓会通常会員入会状況

(平成30年10月12日現在)

歴代学校名	人数(人)
香川県衛生検査技師養成所	156
香川県臨床検査専門学校	348
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,188
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	457
計	2,149
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	67
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	167
香川県立保健医療大学臨床検査学科	190
香川県立保健医療大学看護学科	602
香川県立保健医療大学助産学専攻科※	12
香川県立保健医療大学大学院※	2
計	806
臨床検査学科在学生(うち平成30年度新入会員)	71(18)
看護学科在学生(うち平成30年度新入会員)	213(55)
助産学専攻科(うち平成30年度新入会員)※	4(4)
大学院(うち平成30年度新入会員)※	5(5)
計	293
合計	3,415

※助産学専攻科生および大学院生のうち本学の卒業生ですすでに同窓会に加入しているものは除く

国家試験合格状況・進路状況

多くの学生が県内の医療機関や施設に就職しました。

種別	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
平成29年度	受験者数 69人	20人	10人	18人
	合格者数 69人	20人	10人	18人
	合格率 本学 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	全国平均 96.3%	85.6%	99.4%	90.5%

*合格率の全国平均は、新卒者のみの全国平均です。

住所変更は、小野高速印刷(株)までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288 FAX 0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info